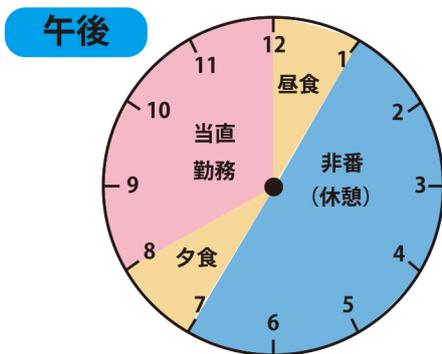
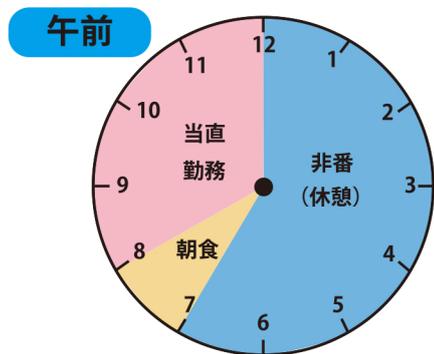


内航船における船上の生活をご紹介します

船員の生活

普通の生活であり目にする事のない船員という仕事。実は日本経済の根底となる物流を陰ながら支えています。船長を筆頭に機関長、航海士それに機関士。それぞれの職員が役割を果たすことで、巨大な船舶が航海できるのです。



休憩時間は、食事や入浴、趣味の時間としてリラックスして過ごします。

■ 3ヶ月乗船・1ヶ月休暇のスケジュール例

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乗船	乗船	乗船	休暇	乗船	乗船	乗船	休暇	乗船	乗船	乗船	休暇



サロンは乗組員がミーティングを行ったり、食事をとったりする場所です。また時間が空いたときは休憩したり、談笑することもあります。



航海中の当直をする場所。操船もここで行う。船長が操船している場合は航海士といえども自由に舵を切る事はできません。全ての責任は操船者に委ねられています。



機関士は、船のエンジンにあたる主機関の監視以外に発電機や各種ポンプ、その他の機器類の監視・記録などを行います。

船員ならではのこんな楽しみも…

旅行・釣り・レジャーなどなど…
自分の趣味に時間を使うことができます。

乗船勤務に従事していた船員の休日・休暇は、連続してまとめて取得することができます。例えば、一般企業の連続休暇が長くてゴールデンウィークの10日程度であるのに対して、船員は約3ヶ月乗船後、約1ヶ月程度の休暇(または約2ヶ月乗船後、約20日程度休暇)の長期休暇が可能です。これを利用して旅行をはじめとした様々な活動をじっくり楽しむことができます。休暇中でも給料の支払は行われますので安心して過ごすことができます。

